

荒川秀俊 あらかは ひでおし 氣象學者、理學博士。明治四十年八月四日福島縣生れ、昭和五十九年十一月二十一日歿（一九七二）。昭和六年東京帝國大學理學部物理學科卒。中央氣象臺入所、二十九年福岡管區氣象臺臺長、四十一年氣象研究所所長、のち東海大學教授。一方漂流記の研究でも知られる。

著書「氣象力學」（昭和十五年七月十八日岩波書店）、「氣象熱力學」（昭和十六年九月十九日岩波書店）、「戦争と氣象」（昭和十九年一月八日岩波書店「岩波新書」）、「日本と世界の氣象—文明は北進する」（昭和二十四年四月十日東都書房）、「日本人漂流記」（昭和二十九年八月十五日人物往来社）、「江戸の実話—「実事譚」の世界」（昭和四十年五月二十日桃源社「桃源選書」）、「新・江戸の実話—「実事譚」の世界」（昭和四十二年十月十日桃源社「桃源選書」）、「国史小品集」（昭和四十二年六月十五日地人書館）、「飢饉」（昭和五十四年四月二十日教育社「教育社歴史新書・日本史」）等。

国史小品集

荒川秀俊著

国史小品集

荒川秀俊著